

科目名	キャリアデザイン 4							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 放送・映像関連業界に限らず、学生の将来設計に寄与する。就職活動支援（履歴書指導・面接指導 等）、年金、健康保険の知識ほか社会人として生きていくための様々な知識を学ぶ。									
【科目の概要】 就職活動における書類、面談スキルについては経験を重視し、その他は講義形式で知識を学ぶスタイルを取る。									
【到達目標】 社会人として全般的な知識を身につける。									
【授業の注意点】 この授業では、基本的に全員に対して同内容の講義を行うが、キャリア形成に関する部分についてはより個別に対策を講じる。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A 自己分析	自分の方向性と照らして、自身の特性を正しく理解し、適正させている		自分の方向性と照らして、自身の特性をある程度理解している			何がしたいのかははっきりしない			
到達目標 B 履歴書への落とし込み	質の高い履歴書を完成させている		履歴書をある程度書けている			履歴書が書けていない			
到達目標 C 自己表現力	どんな方向からの質問であっても「相手が何を求めているか」を理解して適応できる		どんな質問でも素直に答えることができる			自分の言い方でしか対応できない			
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	キャリアデザイン 4							年度	2025

英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期活動の確認			前期活動の確認	就職活動を行う中での成功体験、失敗体験とその理由を確認する		
2	現実と調整			現実と調整	就職活動を行う中で、希望との調整を行う		
3	履歴書、プロフィールの制作④			履歴書、プロフィールの制作④	表現したいことと求められていることのギャップ調整を行う		
4	履歴書、プロフィールの制作⑤			履歴書、プロフィールの制作⑤	より質の高い履歴書の作成を進める		
5	ポートフォリオの作成①			ポートフォリオの作成①	1年次制作作品、2年次前期制作作品を映像、あるいは画像で揃える		
6	ポートフォリオの作成②			ポートフォリオの作成②	自分をアピールするための補完資料として提示できる体裁を整える		
7	ポートフォリオの作成③			ポートフォリオの作成③	提出先の環境に対応できるように、様々なメディアで提示できるよう準備する		
8	ポートフォリオの作成④			ポートフォリオの作成④	よりコンパクトで印象強いものに仕上げる		
9	履歴書、プロフィールの制作⑥			履歴書、プロフィールの制作⑥	ポートフォリオを踏まえ、整合性を高める		
10	履歴書、プロフィールの制作⑦			履歴書、プロフィールの制作⑦	さらに補正を行い完成させる		
11	面接スキルの応用①			面接スキルの応用①	前期就職活動における経験をふまえた面接指導①		
12	面接スキルの応用②			面接スキルの応用②	前期就職活動における経験をふまえた面接指導②		
13	面接スキルの応用③			面接スキルの応用③	前期就職活動における経験をふまえた面接指導③		
14	面接スキルの応用④			面接スキルの応用④	前期就職活動における経験をふまえた面接指導④		

15	まとめ総括		まとめ総括	これまでの取り組みの確認と成長の確認	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					